

2024年度 第45回 大阪府高等学校芸術文化祭 放送文化部門  
番組部門 結果・講評一覧

部門	番号	学校	作品名	評価	講評など (井村先生)	講評など (他の審査員)
----	----	----	-----	----	----------------	-----------------

【審査員】

井村 慎介	関西テレビ放送
中井 勝久	大阪夕陽丘学園高等学校
内野 洋子	プール学院高等学校
小畑 敦彦	府立平野高等学校長
久下 哲也	府立池田高等学校
古賀 歩	箕面自由学園高等学校
浜田 佳樹	府立成美高等学校長

7人の審査員が100点満点で採点し、合計700点で評価しました。

その得点を基準として、ラジオ番組は上位1つ、テレビ番組は上位2つを優秀賞としました。

また、一定の基準に達している作品を奨励賞としました。

審査員からいただいたコメントをまとめ、「講評など」として掲載しています。

※ 審査番号順に掲載しています。

大阪府高等学校視聴覚教育研究会 放送コンテスト委員会

部門	番号	学校	作品名	評価	講評など (井村先生)	講評など (他の審査員)
ラジオ番組	1		(棄権)			
	2	相愛	北御堂へ、ようこそ	優秀	象徴的な音で入るのが面白いが、都会のど真ん中など、もっと立地的な情報が想像できる演出をしてもよかったのでは。インタビューが不明瞭で、聞き取りにくい。なぜピアノコンサートなのか？選曲の理由は？どんなところが癒される空間なのか。もう少し「画が浮かぶ」情報が欲しかった。	ナレーション・現場音・インタのバランスがとれており、よくわかる展開。インタの内容もわかりやすく、よく伝わる。鐘の音もとても良い。音声も聞きやすい。 テレビ向きの作品かと思った。ランチタイムコンサートをもう少し知りたかった。学校の近くのことを紹介した点がよかった。 じないちよう？じないまち？落ち着いたのある作品。 ナレーションの冒頭は、もっとゆっくり話す方が伝わる。取材の音声聞き取りにくく、残念。お寺の取り組みがよく伝わってきた。 音に注目した点がよい。サラリーマンだけではなく、高校生としてはどうなのか。編集もよい。 序盤の間延び。音量調整ができていない。ピアガーデンは高校生向き？インタの音質が悪い。視聴者が高校生ということを忘れていないか。どのあたりが高校生向けなのか、テーマを再考してほしい。
	3	四天	愛染さん	奨励	入りがたのしい音楽なのは面白い。ナレーションは以後のゴソゴソという音がとても気になる。早口で、話題も祭りのことなのか、ごみ問題なのか、何の話なのかわからない。この番組内容は「企画書」の段階で行うこと、そこからテーマを絞るべき。インタビューの後「こう話すのは・・・」という倒置的演出にメリットはない。祭りでは、来場者へのインタビューがほしい。	導入の「お囃子」がとても良い。愛染まつりのイメージが音声だけで伝わりにくい。どうしても音声だけではわかりにくい箇所(地名や人名)があることが残念。音声やマイクの吹かれが気になる。 同じことが繰り返しになっているところがあった。編集ミス？愛染まつりのことを知ることができた。 ナレーションの初めの方は切りすぎた。住職の想いが伝わった。エンドクレジットを入れてほしい。 愛染さんの祭りへの想いが取材によってよく伝わるが、祭りに参加している人たちへの取材があればもっと臨場感が伝わる。 ナレーションのマイクノイズ(息)に注意。素材としては、映像向き。 ナレは、マイクを上手く使えていない、吹きすぎ。誰がインタビューで話しているのかわからない。視聴者が高校生ということを忘れていないだろうか。突然の小芝居が気になる。ナレでまとめすぎ。

部門	番号	学校	作品名	評価	講評など (井村先生)	講評など (他の審査員)
テレビ番組	1	浪速	広がれ！紙の輪		<p>前身のイベントの名前が全く聞き取れない。テロップがほしい。インタビュー音声収録は技術的にもう一工夫を。インサートでWebページをスクロールしているが、魅力が伝わらない。カルタのインサートはできなかったのか。取り組み自体は特色があり、テーマとしては面白かったが、永遠にインタビューだけを見せられている感じ。番組作りにもう一工夫がほしかった。「もの」に込めた思いを取材すべきかと思う。</p>	<p>インタのバックに音楽は不要(せっかくのインタが生きてこない)二人のインタのみの作品という印象が強く、インサートカットを入れるとか、もう少しメリハリをつけてもよい。作品の紹介はカメラが動いて見づらい。 お二人の話はよくわかったが、お客さんの反応など、紙カフェのことも知りたいと思った。 インタの音声聞き取りにくい。もっとインサート画像があるとわかりやすい。 イベントの名前がわからなかったことが残念。コメントが少し長く、インサートがあると良かった。 カメラの揺れが気になる。店長のインタ映像が多いので、画が退屈。せっかくのテレビなので、もっと作品や商品を見せてほしい。 音量レベルが低い。テロップが入っていないと内容がわかりづらい。入れるなら全部入れてほしい。BGMでごまかしすぎている。インタが長すぎる。伝えたい内容は何か。視聴者が高校生であるという点をもう少し取り入れてほしい。</p>
	2	四天東	男もする浄瑠璃といふものを	奨励	<p>面白いテーマを見つけられている。もっと義太夫のテクニク(三味線や歌い方の技術など)を見たい。舞台の映像ではなく、独自取材で。教本の文字が読めないとか、視覚的にわからないところをきちんと面白いがべき。「体験会」ではなく、主人公の普段の練習風景(本気の部分)にカメラを入れてほしかった。セッションは誰と？</p>	<p>とても珍しい題材を取り上げ、丁寧な取材により伝えている。三味線をひいた子どもたちの感想がとてもよい。ここからの展開もとてもよい。女性の義太夫のことをしっかり取材できていた。実際に体験したことも良かった。 思いや考えが伝わる。 場面転換がわかりやすいテンポ。舞台の映像がにじんでいるようで残念。テーマにふさわしい取材ができています。 取材頑張った。せっかくのテレビなので、浄瑠璃の言葉をテロップにするなどわかりやすくしてほしい。インタビューが多く、ややラジオ向きか。 テロップが顔の横すぎる、テロップの位置が低い。りの会や体験会はどこでやっているのか、テロップ等で情報がほしい。</p>
	3	プール	東大阪ものづくりの街から	奨励	<p>タイトルがよみきれなかった。カットが短い。コースの説明はカメラワークとナレーションで。演出を加えると面白くなる。「一番遠くの参加者」を表現するにはどうすればいい？登場人物が多くて、情報を消化する前に次の人に行ってしまう。大会のGoPro映像を借りられなかったのか？迫力あるレースを映像で見たかった。ネタとしては面白いものが見つけられている。</p>	<p>面白いイベントを取り上げていた。伝えたいことは？「こんなイベントがある」という紹介？そのあたりをもっと表現してほしい。 東大阪のものづくりの部分をもっと見たいと思った。 面白い題材。見ていて楽しい。 序盤のつかみが弱い。上が切れている。レースシーンの演出を工夫して。魅力がいまひとつ伝わりにくい。</p>
	4	箕面自	スカッとSDGs	奨励	<p>地域の話がテーマの大会で、ファーストカットがNHKクリエイティブライブラリーなのが期待感が下がる。廃品業者の日常の様子や思いを、きちんと「取材」してほしい。それがあってのクラッシュボックス=SDGsだと思う。インタビューだけでなく、どのようにこのゴミをリサイクルに流しているのかをカメラで追ってドキュメンタリーにしたものを見たかった。</p>	<p>面白い話題を取り上げ、実際にやってみたところがとても良い。伝えたいことは？もう少し踏み込んで表現してほしい。 リサイクルしているところの取材がほしかった。ストレス発散の部分が強かった。 よく見つけてきた。バットをふるところをスローで見せた点がよかった。 クラッシュボックスの取材が始まるまでのテンポが少しゆっくりと感じた。壊した後のゴミをどうしているのか知りたい。 タイトル画が短い。テレビ向きの素材。テーマがやや散漫。順序などの整理が必要。 面白い対象を見つけた。1回いくらなのだろう。SDGsを店の人の言葉でなく、テレビなので映像などでも見たかった。 つかみが弱い。</p>

部門	番号	学校	作品名	評価	講評など (井村先生)	講評など (他の審査員)
テレビ番組	5	四天	繫げたい 思い		タイトルにもう一工夫を。画質が良くないのはなぜ？そもそも何の商品を扱っているのかわからない。内部の説明は本人ではなくてナレーションと工夫したカメラワークで。自販機集めてくれ(KITTE)の後の「エコじゃない」「めんどくさい」「僕に任せてくれ」の文脈がわからなかった。でも、自販機に未来や期待はありますね。	なぜこのような自販機を作ったのか、自販機の製作者の想いをもう少し表現してほしい。 面白い題材だが、地域性が少し見えにくかった。利用者の感想なども知りたい。 画像が不鮮明なのが残念。次世代自販機のテーマが面白いのに。インタにもっとインサート画像を入れてほしい。 次世代自販機がよくわかる。大阪を伝える部分が少し弱く感じた。 KITTE大阪の説明が欲しい。インタの画が多く、やや退屈。 ナレがくちゃくちゃしている。画質が悪い。音を無理にノイズキャンセルした影響で、リバーブが強く出ている。KITTE大阪はどこにあるの？大阪にしかない魅力だろうか。
	6	堺西	「地域遺産」を守る		空撮にはテロップでクレジットを入れた方がよい。1カットが短くて忙しい。文字の画が読み切れない。小谷館長は子孫なの？何代目かの紹介を。公演？講演？テロップ間違い。撮影編集のテクニックは高いと感じた。	学校近くの城をテーマにした点がとても良い。小谷さんのインタが長すぎて、インサートを入れるとか、もう少しメリハリがほしい。 「約」は「およそ」と読んでほしい。インタに、例えばおじいさんの写真など、もっとインサート画像を入れてほしい。 地域の資料館の想いは伝わった。できれば地域の方の話も知りたかった。 前半の写真等を使った説明部分が少し長く感じた。農具などの紹介の際、関連の映像があるとわかりやすい。 身近な史跡を扱うのはよい。テレビ向きの素材。インタの画が多いので、インサートで変化がほしい。 お城の紹介ということは理解できるが、どんな点に魅力があるのか伝わりにくい。思い出の話は構成上必要だろうか。これまでの歴史を知れるというなら、それが何かを具体的に。
	7		(棄権)			
	8		(棄権)			
	9	桃山	行こうや、 新世界へ。	優秀	こわそうな世界に飛び込んでいった放送部員の勇気をたたえたい。アニマル柄を着る理由などはなるほどと思わせた。前半はとてもわかりやすく説得力があって素晴らしかったが、後半のライブはワチャワチャ感がちょっとしんどくなってきた。やり過ぎ感というか・・・おぼちゃんの思いや実は・・・という意外な一面を知りたかった。	つかみが素晴らしい。インタからうまく展開ですすめて、オバチャンズに迫れたところがとても良かった。もう、笑わせてもらいました(笑) 大阪のおぼちゃんを取材した面白い作品だった。もっとおぼちゃんのことを知りたいと思った。 面白い話題を見つけてきた。おぼちゃんのインタの編集は大変だっただろうと思った。 なにわ小町のお店の商品も(取材中のインサートに)知りたい。タイトルの「行こうや、新世界へ」はおぼちゃんの言葉を使った方がよかったかもと感じた。 「大阪のおぼはん」という着眼点がよい。逆にアイドルにしぼって、もっと追いかけてもよかった。 月曜から夜ふかして見たようなテーマ。アニマル柄のことを伝えたいのか、おぼちゃんを見せたいのかどちらだろう。人柄や苦労が見れるとよかった。
	10	四天	天王寺を 日本一誇れる都市へ～地域の動物園の取り組み～		説明的なカットが多いので楽しさが少ない。ワニなどもっとアップで生き生きと撮影できなかったのか。なぜ主人公の前で本人(動物)をさえぎってレポートするのか。リスペクトしてほしい。ナレーションとインタビューの内容が重複している。「動物福祉」の話題が唐突。そしてインタビューだけで済ませている点が残念、もっと知りたい。質問の方向性がバラバラで軸がほしい。	天王寺動物園の魅力が良く伝わりました。観客のインタがあればもっとよいのではと感じました。 動物園の取り組みについて知ることができた。来場者の話も聞きたかった。 前田さんのインタのテロップのフォントに注意(中国語の文字になっていた)。エンドクレジットも入れてほしい。インタにインサート画像を入れてほしい。動物園の歴史の部分は短縮してもよいかも。生態展示がもう少しわかる映像が欲しい。動物を飼育しているところなど、具体的な人と動物の映像があると説得力がある。 生態展示が面白い。そこに絞った方がよかったかも。具体的なエピソードがほしい。 画質が悪い。ナレーションの音質が変わりすぎている点が気になる。生態展示といえば旭山動物園が有名？歴史は魅力になるのか？平和と動物園のミックスが魅力では？外国人の話の関係は？テーマがブレているように感じた。

部門	番号	学校	作品名	評価	講評など (井村先生)	講評など (他の審査員)
テレビ番組	11	池田	憩いの場で感じる1500年	優秀	古墳のGoogleEarthおもしろい。大きさの表現を部員が歩くところなども工夫が見られる。一つ一つの映像の撮影方法に工夫が見られて、とても見やすい。間の取り方もちょうどいい。ナレーションで説明しているので、インタビュー(内田さんの思い)も入ってくる。行ってみたいくなった。子どものシーンはもう少し盛り上がって欲しかった。	地域の話題としてはとても良かった。ただの紹介に終わったところが残念。 古墳を身近に感じる点がよく伝わった。のんびりした感が出てよかった。新しい発見があった。 子どもたちの声が聞きたかった。 もう少しBGMを入れて。古墳と歴史館の紹介になっている。高校生の視点があればよかった。編集はよい。 なぜモノクロに？高校生という視聴者を想定しているか。憩いの場という序盤での歴史館の話しや勾玉の話しはズレているように感じた。両方とも、来場した人のインタビューからつなげる方がよかったのでは。
番組自由	1	平野	School Night ~肝試しの悪夢~	奨励	学校の文化祭で流すには、とても盛り上がる内容で、良いものを頑張って作れたと思います。大人になって見返して、よい思い出になるでしょう。カメラワークや講座うなども工夫しており、見やすく、レベルの高さを感じました。BGMやメイクなどのクオリティー高いです。私は関西人ですが、大阪の地元の人同士の話ことばにはちょっと慣れない部分があるので、少しビビりました(笑)。「カメラをとめるな」を思い出しました。学校の様々な場所を使って冒険感を出せているのも、飽きずに見られる一因になっていました。ゾンビが弱そう(笑)。時々ドアップのカットを入れると怖さを表現できると思います。全体的にルーズな構図が多いので、屋上からみたゾンビのうごめくシーンかっこよかったです。障子の茶道室もよい。企画や監督を担当した人には、クリエイターとしての才能をとても強く感じたので、文化祭もいいけど、もっと多くの人が見て楽しめる作品をまた撮ってほしいです。期待しています。	楽しく見ることができました。あっさり友達を残していきましたね。最後まで楽しみました。 テロップが多く、人物名が多い気がした。色を変える工夫を入れてもよいかも。はじめに、この人は誰かなど人物名を紹介してもよいかも。マスクをして人をかじるゾンビ？ 暗所での撮影は難しいですね。文化祭へのクラスの取り組みはよく伝わりました。 楽しく作っていることが伝わります。自然な演出もよい。「～の音」のテロップはそんなに入れなくてもよいかも。 BGMが少し多い。突然暗くなった点が気になった。「ゾンビランド」や「カメラを止めるな」などのコメディと混ざったものが参考になりそう。 怖がらせたいのか、面白くやりたいのかを統一してみるのもよい。撮影に使うカメラや音声レベルの統一などをするとさらに良くなる。イットフォローのような形にするのもあり？